



令和5年度 男女共同参画基礎講座が開催されました！

6月3日（土）～7月1日（土）にかけ、全4回の「男女共同参画基礎講座」が開催されました。鹿児島県男女共同参画センター主催の本講座は、鹿児島市会場と瀬戸内会場をzoomによりつなぎ、オンライン受講となりました。

- ◇「知る」～ジェンダー平等についての確かな理解のために・男女共同参画の基本的な考え方
- ◇「気づく」～ジェンダーを「自分事」に寄せて実感的に理解するために、気づきの窓をひらく
- ◇「動く」～地域で身近に男女共同参画・ジェンダー平等を進めるための地域づくり、をテーマに講師、たもつゆかりさん、高崎恵さんによる講話を聴きワークショップを行ない、受講者同士で毎回話し合いながら学びました。

つぶやき



差別と区別がちがうことを知ることができて、自分の中で整理ができました。

今までの自分の「当たり前」をもう一度見つめ直したい。

子どもへのしつけについて、今までとは違う言い方をしないとイケないといういろいろ考える。

子どもの頃からずっとモヤモヤしていたものが、ジェンダーや人権のことだったなーと改めて考えさせられました。今自分ができることは、まだまだわかりません。これからは感じる違和感に焦点を当てて自分なりに考えていきたいと思います。

みんなそれぞれの立場でさまざまなモヤモヤを抱えているけれど、共有・共感することでこれからの行動への力がもらえると思いました。

日本のジェンダー平等は世界に大きな遅れがあるので、この差が少しずつでも改善できて、誰もが安心して過ごせる社会が実現してほしいです。



家族で食事をする時、無意識に男の人から先に配膳している自分に気が付いた。

どんな事が幸せだと思うかは、人それぞれ違う。自分がこうして欲しいという思いは、相手に伝える事がわかってもらえる第一歩だと思います。

男女共同参画について話を聞くと、新しい気づきや、自分を振り返り、これからの人生設計に役立つ事ばかりだなあと感じます。これからも学び続けたいと思います。



地域柄、人口が少ないのも影響するのか、頼まれる用事が多く感じる時もある。人との付き合いもあり、断りづらい事もある。結の精神という名の同調圧力を感じる時があります。

学び続け伝える事で、ジェンダー平等が次の世代へつながって生きやすくなる事を願って活動する。

今回の講座の参加者は女性のみでしたが、女性・男性関係なく、さまざまな思いを話し合い、多くの方で共有することで、まずは身近な方から思いやるきっかけになれるかもしれません。来年はもっと多くの方々のご参加をお待ちしています。

